

第30回「志津ふれあい広場」開催

11月10日(日)秋晴れの下、「祝令和 好きですふるさと志津～みんなで大きな『わ』をつくろう～」をテーマに、第30回志津ふれあい広場を開催しました。今年は第30回の記念事業であり、また未来につながる「令和」の新しい時代を迎えての新たな取り組みもあり、大いに盛り上がりました。ステージでは、立命館大学チアリーディング部によるチアダンスが花を添えてくれ、屋内会場の「ふるさと志津の原風景」の88枚のパネルの展示や屋外会場の「志津の企業紹介コーナー」なども新たに設けました。多くの皆様のお力添え、ご参加を得て、文字通り実りの多い、笑顔のあふれる「ふれあい広場」になりましたこと、心よりお礼申し上げます。

(教育・文化部長：寺尾 信一)



▲開会式「志津まちづくり協議会」の歌合唱



▲立命館大学応援団によるチアダンス



▲草津焼陶芸体験の様子



▲志津の企業体験コーナー



▲大盛況の模擬店



▲リサイクル工作体験の様子



▲グラウンドゴルフ体験コーナー



▲やすらぎ合唱団の発表



▲活気あふれる大抽選会

◎地域環境美化活動

一人一人の心のマナーで美しいまち ～ポイ捨て0のまち～



ふれあいサロンの紹介

「ニットカフェ・杜」 追分町内会

▶茶話会の様子



開催日：月 3 回(追分町広報でお知らせ)
 時 間：13:30～16:00
 場 所：追分会館
 内 容：編み物・茶話会(“みんなが先生、みんなが生徒”
 をモットーに楽しく交流しています)

「エメラルド倶楽部」エメラルド マンション草津青地自治会

◀百歳体操の様子



開催日：毎月第 1・2・4 木曜
 時 間：13:30～15:30
 場 所：マンション集会室
 内 容：百歳体操、映画鑑賞、おしゃべり会

フレイル予防・健康教室開催

9月14日(土)志津まちづくりセンターにおいて、まち協体育健康部と健康推進員連絡協議会の共催で高齢者フレイル予防の健康教室を30名の参加で開催しました。



▲講座の様子

今回のテーマは【フレイルを予防しよう！健康寿命を伸ばそう！】でした。

フレイルとは、加齢に伴って体力(筋力)や精神力などの心身の活力が低下し、要介護の状態に近づく事で、それを防ぐために大切な低栄養予防・食生活のポイントについてのお話や、予防の為の3つの柱①栄養 ②運動 ③社会参加の重要性についても説明しました。

平均寿命だけでなく、健康寿命の延伸も充実した生活を送るうえで目標としたいところです。

続いて、フレイル予防を考えた献立を健康推進員が調理し、参加者の皆さんに試食していただきました。参加者から「参考になった」「今後の生活に役立てたい」という声を聞くことができました。(健康推進員連絡協議会 理事：奥村 和子)

敬老のつどいが開催されました

多年にわたり社会に尽くしてこられた皆さまを敬愛し、長寿を祝う「敬老のつどい」が令和元年9月16日の「敬老の日」を前後し、町内各地で開催されました。志津地区の本年度の対象者は、1,842名で、600名の皆さまが参加されました。楽しみにしておられたのか開会の予定



▲笠井町 敬老のつどいの様子

時間よりも早くお集まりいただき、和やかに会食され、“見る、聴く、一緒に歌う”などのアトラクションを楽しまれ、多くの笑顔を見ることができました。来年の「敬老のつどい」にもお元気で多数ご参加ください。

(福祉部長：服部 孫司)

スマホの安全利用とは?!



9月21日(土)講師に草津警察生活安全課より伊藤千春さんをお迎えして、令和元年第1回「すこやかセミナー」を開催しました。志津小学校PTAの要望を受け、「スマートフォン(以下スマホ)に潜む危険と対策」のテーマでお話いただきました。私たちの生活において、今やスマホはなくてはならないものとなってきています。子どもたちにとっても身近なツールではありますが、知識や危険意識のないままにインターネットやSNSを利用するようになってきています。SNSはコミュニケーションツールとして便利で楽しいものである一方、見知らぬ他人と容易に繋がることができる危険もあります。

講演では、親世代が「複雑でよくわからない」と放置するのではなく、子どもたちが健やかにスマホと付き合えるようになるため、スマホの使い方やSNSについて教えていただき、有意義な時間を過ごすことができました。



(青少年育成志津地区民会議：臼杵 照代)

▲セミナーの様子

～郊外交流研修会～ 水郷の郷近江八幡へ

志津社会福祉協議会では、70歳以上の一人暮らしの方と、身体障がい者更生会の方々を対象に、年2回の郊外交流研修会を開催しています。今秋は、10月29日(火)に総勢57名がバス2台に分乗して、近江八幡に出かけました。



▲雨の中八幡山へ

ロープウェイで八幡山に登り、八幡市内を山から望む予定でしたが、あいにくの雨でロープウェイ内から眺めるだけになりました。近江牛重の昼食、町並みの散策、バスの中では会話ははずみ、楽しい交流の場となりました。

(志津社会福祉協議会：寺尾 孝男)

子どもたちの安全・安心 令和元年度「市長とまちづくりトーク」

令和元年度「市長とまちづくりトーク」を9月26日(木)志津まちづくりセンターで開催いたしました。草津市長をはじめ市の基幹職、県議会議員、市議会議員、町内会長会、オブザーバー、まちづくり協議会役員計38名の方の出席をいただきました。地域の生活道路「子ども・生徒の通園、通学の安全・安心」をテーマにプレゼンテーションを行ないました。

最初に、平成27年末に完成した志津道の課題・検証を行い、通学路の町別利用状況や周辺の事故件数、危険箇所(右左折)5ヶ所を取り上げました。

結果、新幹線高架下の交差点が他に比べて左右の見通し(車)が悪いこと、又多数の児童が歩道を利用している

事が判明。この場所を特性要因図で分析をして重要な5項目を解析、対策へと結び付けました。課題としては、ますます増加する交通量を分散するために都市計画(南大萱～青地線)道路の早期完成が急がれます。

(副会長:奥村 弘)



▲トーク会場の様子

第1回「志津ふれあい体育祭」開催

今年度より「志津ふれあい体育祭」と名称を変更し、新しいシステムと地域住民の年齢構成から見て、多くの方が楽しく参加できる競技種目を取り入れました。前日は、激しい雨でほとんど準備をすることができず、当日は開会時間を30分遅らせて開始することになりました。

10月20日(日)快晴のもと、全12町内会と地域住民1,500名が参加して、ふれあい体育祭を盛大に開催することができました。体育振興会、各種団体と選手の皆さんの積極的な協力のおかげで、競技もスムーズに進行して事故もなく無事終えることができました。初めて実施した健康測定コーナーでは、関心度が高く予想以上に参加がありました。体育祭について皆さんの声をお聴きして、次年度に反映していきたいと思えます。今後とも、地域の皆さんが楽しくふれあい交流のできる場づくりに努めます。

(体育・健康部長:乾 英男)



▲防災競技



▲健康測定の様子

令和元年度 「臨時常任理事会」を開催

令和元年度「志津まちづくり協議会」臨時常任理事会を、11月12日(火)志津まちづくりセンターにおいて開催しました。当日は、委任状を含め19名の出席のもと、「志津まちづくり協議会」会則および細則の一部改正について、協議されましたが、内容が多項目に及ぶことから、次回の常任理事会で協議されることになりました。

(事務局長:奥村 清)

“知ってあんしん認知症” 研修会を開催しました

2025年には5人に1人の予測

11月16日(土)昨年の「認知症徘徊搜索模擬訓練」に続き、本年は南草津けやきクリニックの宮川正治先生をお迎えし、「認知症の種類、薬物治療等について」研修会を開催しました。誰もが認知症についての



▲講座の様子

正しい知識を持ち、認知症の人や家族を支える手立てを知っていれば、尊厳と希望をもった暮らしを、地域みんなで守ることが出来ます。志津地区では現在約2,360名の高齢者がおられます。特別な人に起こる、特別な出来事ではありません。歳をとれば、誰にでも起こりうる身近な病気です。志津まちづくり協議会では毎年、認知症について学んでいく予定です。ぜひ、ご参加ください。

(福祉部長:服部 孫司)

絶景の牟礼山に登って来ました!

11月30日(土)子どもと大人33名が参加して、「子どもと大人のハイキング」を実施いたしました。少し肌寒い朝でしたが天候に恵まれ、準備運動をして順路を歩くうちに気温も上昇して、絶好のハイキング日和となりました。まちづくりセンターを出発して、岡本町を通り、若草、青山へと歩き、児童公園で持参の弁当を食べました。エネルギー補充をして気力も充実した一同は、牟礼山を登りました。標高はたったの221m、遊歩道も整備されていますが、頂上までは思った以上に時間を要し、日ごろの運動不足を痛感しました。山頂からの見晴らしは素晴らしく、眼下に立命館大学、志津の町並み、遠くにびわ湖、三上山を仰ぎ見ることができ、思わず疲れも忘れました。帰りのセンターまでの道のりは、往路より長く感じましたが、小学1年の参加者3名も弱音一つ吐かずに最後まで歩きました。

(体育・健康部長:乾 英男)



▲青山を目指して



▲山頂で記念撮影

高穂地域包括支援センター 出張相談会開催

10月9日(水)令和元年2回目の出張相談会を志津まちづくりセンターで開催しました。回を重ねるごとに、出張相談会に関する理解も深まり、後の自宅訪問につながる事例も増えてきています。また、介護保険事業所を身近に感じていただく機会にもなっています。

今回初めて介護保険事業所の利用者様の制作作品を展示し、福祉用具の展示により、適切な用具の利用や環境調整について情報提供を行い、介護予防を考えていただくよい機会になったと思います。



▲相談の様子

通常の志津学区の相談窓口は下記の通りです。
お気軽にご相談ください。

高穂地域包括支援センター ☎561-8143
(福祉部長:服部 孫司)

やすらぎ学級 郊外研修 伊賀上野へ

10月12日(金)やすらぎ学級の郊外研修を実施しました。今回は「旅に生きた詩人 松尾芭蕉」の生まれ育った町である伊賀上野におもむき俳聖の足跡をたどりました。途中、雨に打たれるあいにくの天候で、足元が悪いなか、芭蕉ゆかりの三施設のうち、上野公園内にある「芭蕉記念館」と蓑虫庵(芭蕉名残のうち唯一現存している庵)を訪ね、情緒に浸りました。

蓑虫庵では芭蕉が晩年詠んだと言われる「新藁(しんわら)の出初(でぞめ)てはやき時雨哉」や「家はみな杖に白髪の墓参り」といった学芸員さんの紹介する俳句に、ゆったりとした、穏やかな気持ちで聞き入ることができました。

歴史にふれたあとは「伊賀くみひも体験」にも立ち寄り、キーホルダーやストラップ作りを楽しみました。また帰路バスの中では、ふれあい広場で合唱する歌唱練習も行い、笑顔あふれる有意義な一日になりました。

(事務局:山田 博隆)



▲芭蕉記念館にて記念撮影

ツイストパンづくり体験 志津わんぱく協働合校

11月10日(日)志津ふれあい広場において、志津わんぱく子どもスタッフ14名、企画委員が一緒になって、ツイストパン体験コーナーブースを設けました。大変多くの方に体験していただくことができ、用意した300食は全てなくなりました。

子どもスタッフは、大人の方からの質問にも自信をもって説明してくれ、子どもたちの成長を感じています。

(わんぱく協働合校企画委員会:宮城 成和)



▲ツイストパンを焼く様子

人権総括研修会 第二回人権講座 開催案内

志津人権教育推進協議会・志津小学校PTA・志津まちづくりセンターの三者共催で、下記のとおり開催します。自分自身を振り返る機会として、参加しませんか。

と き:令和2年2月7日(金) 19:30~

と ころ:志津まちづくりセンター 大会議室

内 容:町内学習懇談会実施報告

モデル町(笠井町町内会)が実施報告

講 演:「たんぼぼ」さんによる朗読劇

(草津市同和教育啓発講師団)

テーマ:子どもたちの未来に

(志津人権教育推進協議会会長:倉橋 正泰)

編集後記

冬の到来と共に、令和元年も年の瀬を迎えています。

第30回「志津ふれあい広場」、第1回「志津ふれあい体育祭」には、多くの地域の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

今通信32号では、皆様が地域でご活躍頂いております内容を掲載させていただきました。

引き続き、皆様が楽しくふれあい交流のできる場作りに努めてまいりたいと思っております。

今後とも、よろしくお願ひ申し上げます。(M. N)